

1 罪名別犯罪認知件数等

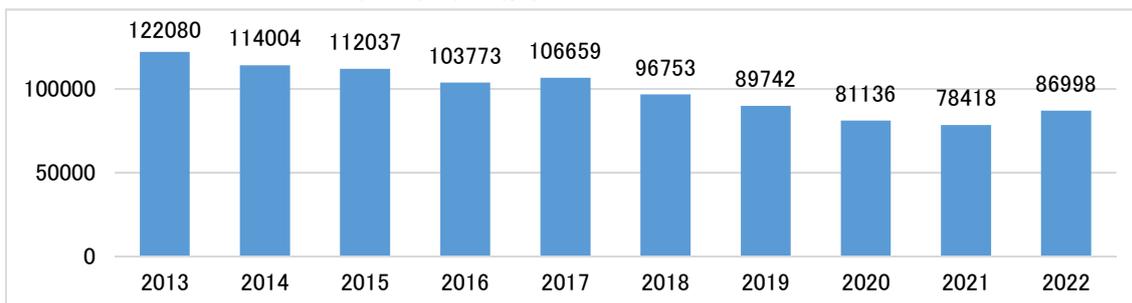
	ブルガリア			日本	Bを100とした場合のAの指数
	認知件数	対前年増減率	A:人口10万人当たりの件数(※2)	B:人口10万人当たりの件数(※3)	
総数(※1)	86,998	+10.9%	1,349.2	481.3	280.3
殺人	266	+8.6%	4.1	0.7	604.3
強盗	960	+7.4%	14.0	0.9	1,522.5
強制性交等	117	+10.4%	1.8	1.3	137.0
強制わいせつ	220	+6.8%	3.4	3.8	90.5
放火	1073	+11.3%	16.6	0.6	2,662.3
略取誘拐・人身売買	108	+3.8%	1.7	0.3	536.6
窃盗	28,250	+15.6%	438.1	326.5	134.2
交通事故死者数	531	-5.3%	8.2	2.1	394.2

※1 刑法犯認知件数。ブルガリアの刑法と日本の刑法では内容や範囲が異なるため、刑法犯として計上の対象となる罪名も異なる。

※2 ブルガリア統計局ウェブサイトに掲載の人口統計をもとに、644万8千人として計算。

※3 日本統計局による人口推計をもとに、1億2,494万7千人として計算。

2 ブルガリアにおける刑法犯認知件数の推移



3 主な地域(※4)における犯罪認知状況

	ヴラツァ	ヴァルナ	ヴィディン	ブルガス	スタラ・ザゴラ	モンタナ	ロヴェチ	ソフィア市
認知件数(※5)	2,551	6,823	1,132	5,129	3,799	1,517	1,436	15,259
人口10万人当たり	1638.7	1,453.7	1,414.8	1,253.3	1,228.4	1,225.5	1,185.5	1,166.7

※4 人口10万人当たりの認知件数上位8位までの市・県を抜粋。

※5 生命・身体に対する犯罪(殺人、傷害等)及び財産に対する犯罪(強盗、窃盗等)の件数。

4 当館コメント

ブルガリアでは近年、犯罪の減少傾向が続いていましたが、2022年の犯罪認知件数は前年比約1割増となり、5年ぶりに増加に転じました。人口10万人当たりの犯罪認知件数を日本と比較すると、ブルガリアは日本の約2.8倍で、罪名別にみると殺人は約6倍、強盗は約15.2倍と、凶悪犯罪について非常に高い水準にあります。

地域別にみると、首都ソフィア市を始めとする主要地域では総じて前年から増加しており、特にヴラツァ、ヴァルナ及びヴィディンでは増加が顕著であることから、治安状況の悪化が懸念されます。